

日本共産党 宇都宮市議員団

荒川 恒男 様

福田久美子 様

公開質問状への回答について

1 教育委員会委員としての抱負について

私は、教育において大切なことの一つに、「たくましさ」を育んでいくことであると思っております。「たくましさ」とは、どんな環境であっても、しっかりと自分の考えを持ち、自ら行動することができる現代社会を生き抜く力であります。

近年では、チャレンジ精神がなかったり、すぐに諦めてしまったりなど、「たくましさ」が足りない大人が増えていると感じることがよくあります。「たくましさ」は、すぐに身に付くものではなく、子どもの頃から育んでいくことが必要であり、学校だけではなく、家庭や地域など、子どもたちが生活する中で、あらゆる場面を通じて行うべきであると思いますので、私たち大人が果たすべき役割や責任は重要であると考えております。

宇都宮市では、学校の先生をはじめ、多くの保護者や地域の方々が、子どもたちのために一生懸命活動されております。しかしながら、地域によって活動にばらつきがあったり、中には家庭で行うべき教育までを学校に任せきりにしてしまう保護者がいることも事実です。

私は、まずは親が保護者としての責任を果たすことが重要であると思います。また、次代を担う子どもたちは地域の宝であり、家庭だけでなく地域全体で子どもを育む環境を作っていくことで、宇都宮市全体の教育の底上げを図る必要があると考えております。

これらの課題を解決し、宇都宮市の教育をより良いものにしていくためには、実際に教育現場に携わる方々の声が貴重であると思いますので、私のこれまでのPTA活動や青少年育成活動など、教育に関わる様々な活動の経験が役立つものと考えております。

最後になりますが、教育委員に就任いたしましたら、これまでの経験を十分に活かし、また、今後も地域や保護者の方々の声を伺いながら、宇都宮市の教育行政の発展に微力ながら貢献してまいりたいと思います。

2 歴史教科書について

太平洋戦争からすでに70年が経過し、戦争を経験した方々も少なくなってきましたが、日本だけでなく世界中の多くの方々の尊い命が犠牲になったこの戦争は、決して忘れてはならないことであり、同じ悲劇を二度と繰り返すことのないよう、世界中に戦争の悲惨さや平和の尊さを訴え続けていくことが大切だと考えておりますことから、現代の子どもたちにしっかりと戦争について伝えていくことができる教科書であることが望ましいと考えております。

3 小中学校での主権者教育について

私は、学校の授業や学校生活などあらゆる機会を通して、政治に参画することの意味や選挙の仕組みなどを早い段階から学び、主権者としての意識を育んでいくことが重要であると考えております。

また、子どもたちの政治に対する興味や関心を高めていくためには、各家庭においても、テレビや新聞など身近なニュースを題材に、政治や選挙について話し合う機会を作ることも必要であると考えております。

4 学校現場の教師の多忙化について

私は、子どもたちが生き生きと学習に取り組み、充実した学校生活を送るためには、何よりも「教師が子どもたちと向き合う時間」を確保することが大切だと思っております。しかしながら、現在の学校現場では、事務処理などの業務が多く、また、本来家庭や地域で行う教育までを学校に任せてしまうことなどにより、教師が子どもたちと向き合う時間を十分に持てていないという声も聞いており、そのような状況を大変危惧しております。

子どもたちが健全に育つためには、魅力ある学校づくり地域協議会を活かしながら、家庭や地域の教育力を高めていくとともに、地域が学校の教育活動を支援することなどを通して、学校にかかる負担を少しでも軽減させることにより、教師が子どもたちと向き合う時間を十分に確保することが必要であると考えております。

清島 康伸